

令和7年12月10日

関西学生卓球連盟 加盟校各位

関西学生卓球連盟  
会長 高島 規郎  
理事長 峯山 健一  
幹事長 澁谷 拓海

全農杯 2026 年全日本卓球選手権大会（ダブルスの部）出場時のユニフォームについて

拝啓 寒冷の候、ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当連盟の諸行事に格別のご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、令和8年1月29日から日本卓球界最高峰の大会ともいえる『全農杯 2026 年全日本卓球選手権大会（ダブルスの部）』が開催され、関西学生卓球連盟に加盟されている大学からも数多くの選手が参加します。

試合に出場する際は、現行の日本卓球ルール及び大会実施要項の競技ルールにしたがってプレーされているかと存じます。

その際、所属が違う選手同士が個人戦でダブルスを組む場合でも同じ服装で競技しなければならない、従前より当連盟の選手においてはルールのみを優先し、自校以外の他大学のユニフォーム等で出場していることが散見されています。

他校のユニフォームを着用してプレーすることはルール上禁止とされていませんが、他校のユニフォームで大会に出場することは、自校への妬みと思われる可能性があります。

ルール以外にも大学関係者への配慮や、メディアや一般の方も注目する大会であることを認識してください。

所属が違う選手同士でダブルスに出場される際は、他校のユニフォームの着用を控え、市販品のユニフォームに自校のエンブレム等を貼るなど工夫して出場するようお願い申し上げます。

ルールを遵守し、卓球選手だけでなく人として模範となるような行動をとれる学生であるよう努めてください。

敬具

（参考）

日本卓球ルール 2.2.2.7

団体戦に出場するチームの全競技者、及び個人戦でダブルスを組む競技者は、靴及び靴下、服装についている広告の数・大きさ・色・デザインを除いて、同じ服装で競技しなければならない。